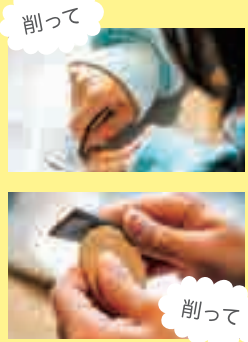




やまがた木育

～やまがた愛の人づくりを目指して～



削って



どんな形にしようかな～



自作の教材で
やすりの使い方を説明

完成!

削って



みんなで記念撮影



ブナのしずくストラップ 左:完成品 右:削る前



参加者一人ひとりに目配りしながらの、ゆつくりとしたわかりやすい説明は、さすが幼稚園の先生!

説明の後は製作開始です。ブナの木を紙やすりで好きな形に削り、ソルトになるまで磨きます。やすりで削る作業は、大人でも腕が筋肉痛になるような大変な作業ですが、大人も子ども

も夢中ですよ。途中で疲れてしまったお子さんも講師や家族からのサポートで無事完成!世界に一つだけのストラップができました。

参加者からは、「森林は私たちの生活に欠かせないものだと感じた」、「ブナ林が占める面積の広さに驚いた」などのや、「実際に木に触れ

て、質感を感じることができた」、「なかなかできない体験ができ、楽しいひとときだった」など、充実した時間となったという感想が寄せられました。

県では、このやまがた木育プログラム体験会の効果等を検証しながら、やまがた木育を推進していきます。



ONE POINT 一口メモ

県では、「やまがた木育」を推進するため、プログラム体験会の他にも、様々な取組みを展開しています。

- やまがた木育人材養成講座
人材を掘り起こすとともに、指導者を養成するための講座を開催しています。本誌で紹介した体験会の講師は、この講座(スタートアップ講座・スキルアップ講座)を受講した方々です。
- 副教材「やまがたの森林」及び「森のたんけん手帳」の配布
身近な森林について理解を深めるための副教材を作成し、県内すべての小学5年生に配布するとともに森林内での環境学習に携帯できるポケット図鑑も作成しています。
- 県民の森の整備
県内4つの県民の森で、木質化スペースの整備や木製遊具の導入など、やまがた木育拠点施設として整備を進めています。



この問題わかる人!はーい!!



どっちが重いかな?



どんな匂いかな?

「やまがた木育」を「ご存じですか?あまり聞きなれない言葉かもしれませぬ。」

やまがた木育とは、森林の大切さや木材を学ばず暮らしたの良さを学ぶことで緑にあふれた山形が好きな人「やまがた愛の人」を増やすことが目的の取り組みです。県では、そんなやまがた愛の人を増やすべく、森林に出かける機会の少ない親子を対象として、気軽に本物に触れて創って知る「やまがた木育プログラム

「木体験会」を実施しています。

今回は、山形県産業科学館で開催された今年度15回目となる体験会の様子をご紹介します。

講師を務めるのは、県が実施しているやまがた木育人材養成講座を修了された方々です。

今回の体験会の題材は、山形県が日本一の面積を誇る「ブナ」。まずは、ブナについてのお話です。講師は天童市森林組合主任の松田泰之さん。

森林の働きやブナの特

徴について、現場での経験やクイズを交えながら説明をいただきました。子どもたちは木材標本やブナの実に興味津々。においを嗅いだり、重さを比べたり、五感を駆使して学ぶことで、理解が深まったようです。

ブナについて学んだあとは作り方のお話です。講師は幼稚園の園長先生を務める明日美幸さん。自作の教材を使って説明していただきました。